

サルビア

平成30年7月6日 第22号

花と緑とふれあいと ～地域の方にお世話になっています～

学校農園と栽培活動

赤堀東小学校が他校へ誇れる取組として学校農園の栽培活動があります。農園での栽培活動は、生活科や理科、総合的な学習の時間等の目標を達成する過程において「心を育む豊かな体験活動」としての重要性も持ち合わせています。

今年も4月に先生方が草むしりを行った後、例年、農園整備でお世話になっている、齋藤秀和様に耕耘作業をお願いしました。今、農園には、ナス、ミニトマト、さつまいも、枝豆、とうもろこし等が植えてあり各学年の授業で大活躍です。



4月 きれいに耕耘された農園

総合的な学習の時間の取組

5年生 「小菊の栽培」

6年生 「サルビアの栽培」

5月22日(火)、5、6年生は「花いっぱい運動」の協力者で、学校評議員でもある久保田忠雄様をお招きして、「小菊の挿し芽」と「サルビアの種まき」をしました。

6年生は其中で「サルビア」と旧赤堀町や赤堀東小学校との関わりについてのお話を聞きました。

旧赤堀町では、「豊かな町づくり」の一環として、老人会や各種団体、花の愛好家達が毎年道路沿いにサルビアを植えていたそうです。そして、東小学校ができた時、心豊かな子どもたちが育つようにと、校章を「サルビア」にしたのだそうです。町の人の思いを受けて、見事な花が咲かせられるように世話をしたいと思っています。



旧赤堀町の花：「サルビア」(昭和55年8月23日制定)

制定理由：花が赤く、赤堀町の赤にふさわしく長い間楽しませてくれ、赤堀町がながく栄えるように。

(出典：「まんが赤堀町誌」より)

教育環境の整備

学校の木々が沿道まで伸びているのが気になっていたところ、7月5日(木)、「曲沢緑と花でつむ会」会長の小保方利治様他3名の方が、ボランティアで伐採をしてくださいました。

本当にありがとうございました。

